

図1 アルバータ州における高校教育カリキュラム

[100単位]	必修科目 [50単位]			
	英語	数学	科学	社会 Career and Life Management (CALM) [3単位] 体育
	選択科目 [50単位]			
	Aboriginal Studies (先住民文化教育)	Career and Technology Studies (CTS)	芸術	体育 社会科学 外国語 オフキャンパス教育

図2 CALM授業内容例 (主な展開事例)

総合目標1: 個人の選択
人間関係、恋愛、自己探求、価値観、性格タイプ、学習スタイル、性差、健康、中毒、セクシャリティ、家族 / 結婚、虐待、悲しみ
総合目標2: リソースの選択
家計、一人暮らし、消費者苦情、家主 / 借主、銀行 / 信用、預金 / 投資
総合目標3: キャリアと人生の選択
COPS興味適性診断、キャリア・クルージング興味適性診断、ゲットリアルゲーム、模擬面接、ジョブシャドウ、中等後教育機関訪問、ポートフォリオ作成

図3 「キャリアプランニング」の基本原則

自信
Believe in yourself ★

- 1 変化は常にある
- 2 心のおもむくままに
- 3 人のつながりを大切に
- 4 つねに学ぶこと
- 5 人生は旅と考える

★新しい挑戦や目標達成のためのスキルや能力があると信じること

海外事例

理論と実践の統合ーカナダ・アルバータ州
「人生は変化する」を前提に組み上げられた
「学校から職業社会への移行」プログラム

カナダ・アルバータ州では、学校から職業社会への移行 (School-to-Work Transitions: 以下STW) プログラムが積極的に展開されている。

同州のSTWプログラムを研究する札幌大谷大学専任講師の岡部敦先生は、元公立高校のガイダンス部長。「日本でも高校は生徒の職業的自立とキャリア発達に必要な教育を行うこととされていますが、各担当教員による試行錯誤のなかで進められているのが現状。アルバータ州では学校から職業社会へのスムーズな移行を実現する教育が行われています。教育制度の違いはあっても、その理論や方法を日本でも参考にできるはずですよ」という。

普通科目と職業教育が
一体となりキャリア開発を促す

STWプログラムには3つの柱がある。Career and Life Management (CALM / カーム)、Career and Technology Studies (CTS) とオフキャンパス教育だ。カナダの高校はコンポジット高校(総合型高校)が一般的で、さまざまな進路志望をもつ生徒が二つの高校に集まる。図1にあるように、卒業要件である100単位(1単位は25時間分に相当)のうち後述するCALMは3単位〜5単位の必修科目であり、主に2年次に1学期間かけて履修する。



札幌大谷大学
専任講師
岡部 敦先生
公立高校教諭(英語・進路指導担当)として勤務中、カナダの高校で2年間日本語教師を経験。2011年博士号(教育学)取得、12年より現職。

高校必修科目である
キャリアマネジメント

選択科目のCTSでは実学的な学びを通じて、自身の興味関心を探究する。農業や建築、美容、観光など1000を超える科目が設定されており、各高校は施設設備や地域の要請に応じて授業を開設。職業に直接つながる技術や資格取得ができるが、高等教育の基礎となるものもあり、進学志望者も履修する。

オフキャンパス教育は、長期職業体験や技能資格取得のための実地研修など、それだけで単独の科目として扱われるものと、普通教科やCTSのなかで実施されるジョブシャドウなどがある。

これらのプログラムでは個別の職業スキルのみならず、ジェネリックスキルの習得も目指しており、普通教科の学習内容とのつながりもふまえた指導が行われている。教師はキャリア開発の理論を理解し、生徒のキャリアプランニングや「何を、何のために学ぶのか」という探究を支援することが期待されている。図3は州が作成したキャリアプランニングツールに示されたメッセージ。高校卒業後の人生は「本道ではなく、「人生は変化する」ということがSTWプログラム全体を貫く精神になっており、教員やカウンセラーの共通認識になっているようだ。

CALMにはよく生きる(ウェルビーイング)のための「個人の選択」「リソースの選択」「キャリアと人生の選択」という3つの大きな目標がある。

生徒が「選択」できるようになることを目指し、教師は教えるのではなく、それを促す役割をする。扱うテーマは自立して生活するために必要な自己管理や心身の健康、金銭、労働法規、キャリアプランニングなど(図2)。問題解決、人間関係、変化への対応などもウェルビーイングの要素と考えられ、ディスカッションやワークなど生徒主体の授業スタイルでこれら能力の獲得を目指している。

また、すべての活動を生徒自身が整理し、振り返る「ポートフォリオ作成」を重視する高校も多い。岡部先生が調査したメディスンハット高校では、1年次にキャリアプランと3年間の学習計画を立てることから始まり、CALMでの学習成果、他教科の成績やレポート、教師のコメントもファイルしてゆく。生徒が自己をみつめ、自分がどんな能力を獲得できたのか、この先の活動で何を獲得すべきかを考えるツールとして活用しているという。

アルバータ教育省のWebサイトには指導案など教員用資料が多数掲載されているので、具体的な授業についてはぜひそれも参考にしたい。

アルバータ州のキャリア教育資料

Alberta Education (アルバータ教育省)。「CALM」「CTS」等でサイト内検索を: <http://education.alberta.ca/>

Alberta Learning Information Service (キャリア・学習・雇用等に関する教師・生徒向け情報あり): <http://alis.alberta.ca/>